



台風19号で避難勧告、35人が避難

10月12日から13日にかけて、大型で非常に強い台風19号が関東や東海地方を縦断し、記録的な大雨となりました。

この台風の接近で、村に午後8時21分、土砂災害警戒情報が出され、重大な災害が発生する恐れが生じたことから、村では12日午後9時10分に避難勧告を発令。12か所の避難所が開設され、7避難所で16世帯35人が避難しました。

この台風で、赤城北麓土地改良区第4貯水池(赤谷)の観測所で12日の総雨量

が338.5ミリを記録。幸い人的被害はありませんでしたが、中野地区で土砂の流出により道路通行止めとなったほか、長者久保でも山崩れによる道路の通行止め、川額や松ノ木平第二などでは倒木による道路通行止めの被害が発生しました。

こうした、近年多発している災害に対する自主避難対策として、村内では川額区と常木区、赤城原区、入原区で自主防災組織が設立されており、村ではさらなる組織化の支援をしていく考えです。



不安な夜を過ごす避難者(社会体育館)



道をふさぐ土砂(長者久保)



倒木発生箇所(松ノ木平)

避難所	内訳	避難所	内訳
永井住民センター	3世帯6人	貝野瀬構造改善センター	1世帯2人
子育て保育園	1世帯1人	生越スポーツ交流施設	0世帯0人
南小学校体育館	2世帯7人	大河原小学校体育館	0世帯0人
社会体育館	5世帯9人	赤谷住民センター	0世帯0人
昭和村公民館	3世帯7人	赤城原公民館	0世帯0人
東小学校体育館	1世帯3人	松ノ木平第二住民センター	0世帯0人

避難所避難者

合計16世帯35人

チャリティーゴルフ

大会開催

村ゴルフクラブ連合会(根岸満雄会長)は10月15日、高山村の高山ゴルフ倶楽部でチャリティーゴルフ大会を開催しました。

これは、村社会福祉協議会の進める福祉の村づくり実現にむけ役立ててもらおうと毎年行っているもの。大会では参加者がラウンドを回りながら、併せて募金活動を行いました。

大会終了後の表彰式で、根岸会長から新木敬司社会福祉協議会長へ、チャリティーで集められた寄附金20万円が手渡されました。



ラウンドをまわりながら募金



出発する防犯パトロール隊

農業委員会が防犯パトロール

村農業委員会(角田昌義会長)は11月3日、盗難防止パトロール隊出発式を実施しました。



あいさつする角田農業委員長

迎えたこの時期に、農作物や農業機械の盗難が多発していることから、同委員会や村職員が夜間の見回りを行っているもの。この日は、沼田警察署の青山正幸署長らの臨席のもと出発式が行われました。

角田会長は、「このところは災害も多く、農家としてはやっと収穫にこぎつけたところで人災により盗難に遭うことは死活問題です。このパトロールによって盗難被害の抑止強化に務めたい」とあいさつ。一丸となって取り組むことを確認しました。

旧糸之瀬村役場が解体

旧沼田警察署昭和分署で、旧糸之瀬村役場庁舎だった建物(中宿区)の解体が10月28日より開始されました。

この建物が建設されたのは明治時代。かつての糸之瀬村が誕生した後、警察署昭和分署だったこの建物に役場庁舎が移りました。

本年5月には、糸井財産区(和南城一則区)長から建物の老朽化に伴い、解体についての要望書が提出されました。これを受け、村や議会で議論を重ね、このほど解体が決定しました。なお、正面玄関の柱や沓石、旧電話交換局の扉などは保存されます。



旧糸之瀬村役場

チャリティー舞踊発表会で見事な舞い

村舞踊協会(竹之内みち江会長)が主催する第25回チャリティー舞踊発表会が10月20日、公民館多目的ホールで開催されました。

このチャリティー舞踊発表会は、同協会が舞踊を通じて村の社会福祉に貢献できればと、平成7年から行われています。発表会では、村舞踊協会に加盟する4団体がそれぞれ日頃の練習の成果を発表。午前と午後の2部、40演目にわたって見事な舞踊を披露し、会場に詰めかけた観客を魅了しました。



見事な舞いを披露

第一部終了後には義援金贈呈式が行われ、会場で募った浄財15万755円が村社会福祉協議会に贈呈されました。



義援金へのお礼を述べる新木敬司社会福祉協議会長